**初級学習者を対象とした辞書の使い方　教案**

授業者：若松史恵

▷活動の目標：辞書をまったく使ったことがない初級学習者が、辞書の使い方を学ぶ

▷対象：初級学習者，辞書形導入後

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 指導項目 | 教授者の行動／学習者の活動 | 必要な教具  ／注意点等 |
| 5分 | 1．事前準備：紙の辞書の引き方 | * 「つめ」の並び方 * ことばの並び方   ①並び方の基本は50音表  ②1文字目が同じときは2文字目を見る。  例）「おや」と「おおや」など  ③長音は直前の母音「あ，い，う，え，お」に置き換える。  例）「ビル」と「ビール」，「コピー」と「コーヒー」など  ④小さい字は大きい字の後ろを見る。  例）「さつき」と「さっき」，「びよういん」と「びょういん」など  ⑤濁音，半濁音は清音の後ろを見る。  例）「ひる」と「ビル」，「はす」「バス」「パス」など | 『ねっこ』  50音表  プリントもしくはスライドなどで図示 |
| 5分 | 2．辞書を引く練習 | * 「ます形」を「辞書形」に変換する活動   ①動詞の「ます形」を2つぐらい提示  ※『ねっこ』に載ってる動詞から選定  例）「食べます」「置きます」「起きます」など  （学習者が間違えがちなものを入れて難易度調整）  ②「ます形」のグループを予測し，辞書形へと変換する。  ③「辞書形」へと変換できたら，辞書で調べてみる。この際，辞書になかったら辞書形への変換が失敗している。変換を再試行。 |  |
| 10分 | 3．辞書で意味を調べる | * 動詞ます形のリストを提示（4～5語程度）   ※『ねっこ』に載ってる動詞から選定  ・変換練習を重視する場合（括弧内は動詞グループ）  例）  Ⅰグループ：遊びます，乗ります  Ⅱグループ：教えます，忘れます  Ⅲグループ：料理します，電話します　など  ※日本語教育語彙表[[1]](#endnote-1)の重要度3以上を選定  ・語義や関連表現が豊富なことばを選ぶ場合  例）歩きます（Ⅰ），貸します（Ⅰ），見ます（Ⅱ）など  ※括弧内は動詞グループ   * 辞書で言葉の意味を調べる   ①「ます形」のグループを予測し，辞書形へと変換する。  ②「辞書形」へと変換できたら，辞書で調べてみる。この際，辞書になかったら辞書形への変換が失敗している。変換を再試行。  ③語釈と関連表現を読んで意味を把握する。 | 動詞ます形リスト |
| 10分 | 作文する | * 作文する   ①調べたことばの中から作文することばを選ぶ  ②作文で自分のことを書いてみる   * 書いた後に   ・教師がチェック  ・ピア，グループで共有  ・Padletなどで共有 | Padlet[[2]](#endnote-2)など |

1. 日本語教育語彙表：https://jreadability.net/jev/ [↑](#endnote-ref-1)
2. Padlet：https://ja.padlet.com [↑](#endnote-ref-2)